

って、聞いたんだと。

いもうとは、「ぼっとしてやっちまった」って、答えたんだと。

神様は、「そだわりごどするやつは、人間にしておかんにがら、鳥にしてやっちまから」「ねえちゃんのことおもって、ぼっとおっつあけだ、ぼっとおっつあけだ、って一日八千八声鳴けば、食うものだけはくれっから」っていもうとを、ついにホトトギスにってしまったんだと。

それから、ホトトギスは「ぼっとおっつあけた」となぐようになつたんだと。

のどから血がでて、木の葉がまっ赤になるまで鳴かねえど、神様に食いものをもらんがったんだと。

